

福井循環器病院連携通信



(財)日本医療機能評価機構認定病院



福井循環器病院は、

(財)日本医療機能評価機構が定める認定基準を達成していることを証する認定証の交付(平成25年1月18日付)を受けています。

理念

私たちは いついかなる時も
自分たちの持てる力を 充分に発揮し
最先端の医療を 提供できる様に 常に研鑽を積み
患者さんに豊かな人生を 提供いたします

先生方におかれましては、ますますご清栄の段、お喜び申し上げます。

平素は福井循環器病院に対しまして、格別のご指導とご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。地域医療支援病院の認定を受けてから早4年が経過いたしました。今まで地域医療支援病院の資格を維持できましたのも登録医やかかりつけ医の先生方のご協力の賜物と考えております。当院では、ご紹介頂いた患者さんの診療がスムーズに行われるよう、事前受付を実施するとともに、来院日にはお待たせすることなく、検査や診察を受けて頂くように心掛けています。しかし、MDCTや複数の検査に時間を要し、患者さんにご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、何卒ご了承頂きますようお願い申し上げます。

全国で200床以下の地域医療支援病院は8施設しかなく、昨年1施設が承認を取り消しになっております。当院は、単科の病院ですので総合病院と異なり、紹介、逆紹介件数には年間を通して波があります。従いまして、貴医療機関から患者さんが自ら受診された場合は、当院から先生方の施設に診療情報提供書をお願いすることもあるかと思いますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

来年から、ふくい医療情報連携システムが運用され、本年は試験的に地域医療支援病院から開始されます。内容を充実させてカルテや画像等の診療情報を閲覧医療機関の先生方に開示していく所存であります。今後とも登録医やかかりつけ医の先生方とさらなる医療の役割分担と連携を進めていくためにも、地域医療支援病院としての機能を果たしていくたいと考えておりますので、宜しくご指導のほど、お願ひ申し上げます。

福井循環器病院 地域医療連携室

受付時間/平日 8:30~17:00

土曜 8:30~13:00

TEL:0776-54-5761(直通)

FAX:0776-54-5977(専用)

E-mail:heart-renkei@fcvc.or.jp

※左記、受付時間以外の電話・FAXは

下記番号までお願い致します

TEL:0776-54-5660(代表)

FAX:0776-54-5977(時間外外来)

循環器糖尿病診療 1Q 67~2013

福井循環器病院

心臓大血管疾患というと精巧な臓器の機械的故障をイメージしがちですが、実際には心臓血管ネットワークは糖尿病など代謝異常の影響を受けやすく適切な代謝管理が極めて重要です。

当院は日本初の私立循環器専門病院として1967年の開設以来実績を積み重ねてきましたが同時に糖尿病がらみで発生する幾多の困難に直面し続けました。必然的二度から発生した特命に対応すべく設立されたのが当院内分泌科といえます。

またメンタルコンディションが科学を超越して病気の行方を左右することは、文字通り現実にあることで、糖尿病症例では良く言えば人間らしさ悪く言えばエゴイズムが病態にいっそう特に深くかかわっていると感じる方々も多いのではないかでしょうか。

3M: (メカニカル、メタボリック、メンタル) な問題が複雑にからみあつた循環器糖尿病診療では、一刀両断に処理するマニュアルは存在せず、想像力妄想力を働かせながら3次元的に診療を進める必要がありそうです。

インシュリンは唯一無二の血糖降下ホルモンであり、心臓血管ネットワークが唯一無二の循環器臓器であると若干似ているといえば似ています。普通は生体の恒常性を維持するために複数の調節機構が存在するのですが、基本的なエネルギー源である糖を下げる手段がインシュリンしかないのは非常に心もとない話であって、我々はもっともつと膵臓、特にβ細胞を大事にしなければいけないわけです。膵臓を保護してインシュリンの基礎分泌と食事に伴う追加分泌を確保することは、心臓をヘルシーに稼動させ続ける事と同等の重要命題といえます。しかし現実にはランゲルハンス島β細胞がどうなっているかなんて我々は意識希薄でともすれば暴飲暴食をしがちでベクトルはひたすら負の方向です。

幸い人類の叡智はインシュリン及びそのアナログとインシュリン自己注射医療制度をもたらし、注射器も含めインシュリンアナログ製剤は、持効型Basal製剤から超速効型Bolus製剤まで、BOTからインシュリン強化療法まで多彩なラインナップが構築されつつあります。

インシュリン製剤だけでなく、近年経口糖尿病治療においても診療選択肢が拡大され光明がさしこみ始めています。

新薬が臨床の現場にもたらされ、既知作用機序の薬剤も改良型が次々導入される名前も覚えられないくらいです。ケータイ、スマホ、AKB48や類縁グループの個別名や所属を覚えられないのと似ているかもしれません。

これだけ種類や数が増えてくると、どの薬剤をⅢC:選択(Choice)、試行(Challenge)、併用(Combination)したらいつか混乱してしまいそうです。したがって医療過誤、医療費高騰、患者離反を招かないよう病態把握と意思疎通を図りながら診療を進める事がますます大切になってきました。今日DPP4阻害薬は最も注目される薬剤と位置付けられ、発売後僅かの期間で頂点へ登りつめました。しかし糖尿病は多因子複雑疾患であり糖・インシュリン・グルカゴンの流れを症例毎に確実に見極めながら処方していく必要があります。

良質な糖脂質塩分電解質代謝コントロールに加えて糖尿病合併症の予防治療制御も我々に課せられた重要な使命です。

糖尿病は頭のてっぺんからつま先まであらゆる臓器の合併症を同時多発的に引き起こすわけで、元々我々の専門領域である心大血管障害、腎症・網膜症・神經症などの微小血管障害、そして最近注目されるようになった悪性腫瘍・認知症・骨粗鬆症・歯周病など裏・合併症など診療チームとして多方向多角的にケアをはらう必要があります。とりわけ予後に直結する心不全、腎不全、癌診療に関しては診療の中核ポイントに位置付けて診療連携を最大限活用していくかなくてはなりません。

当院では循環器内科や心臓血管外科だけでなく小所帯ながら呼吸器科、消化器科、眼科も糖尿病合併症診療に鋭意取り組んでおり、やや手前味噌になるかもしれませんがフットケア部門も患者目線の取り組みにより評価をいただいております。

合併症管理における最近のキーワードは早期介入と救急医療であり、やはりチーム医療と診療連携が如何に機能するかが循環器糖尿病診療における結果を大きく左右するのではないかでしょうか。



最後にベンチマーク一連の有名なつぶやきを呈示して締めくくります。
ご笑読有難うございました。

最も重要な情報は直感である
Albert Einstein

メモは命の恩人だ
Thomas A Edison

困難は分割せよ
Rene Descartes

地域医療連携室

新しいスタッフが入職しました。



いつも登録医の先生方には当院の連携業務に対して格別のご協力、ご支援を頂き厚くお礼申し上げます。2月に事務、4月にソーシャルワーカーが配属となりました。不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。今後とも、引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新任医師の紹介



循環器科 医長
土田 真之先生
平成14年卒
循環器内科
内科学会 認定医
日本循環器学会 専門医
質の高い循環器医療を目指しています。
よろしくお願いします。



循環器科
高澤 洋介先生
平成16年
日本内科学会認定 内科医
日本循環器学会 専門医
以前福井厚生病院で働いておりました。まだまだ未熟者ですがよろしくお願いします。



心臓血管外科 医長
上仲 永純先生
平成12年
心臓外科 血管外科
外科学会 認定医
よろしくお願いします。



心臓血管外科
白川 岳先生
平成20年卒
心臓血管外科
より着任しました。最良の医療を提供できるよう日々努力しますので、よろしくお願いいたします。



心臓血管外科
前田 修作先生
平成22年卒
心臓血管外科全般
大阪から来ました。前の病院で学んだことを、ここ福井でも活かせるように頑張っていきたいと思います。またここでもご指導よろしくお願い申し上げます。

患者さんの権利

福井循環器病院で医療を受けられる患者さんには次のような権利が保障されます。

1. **個人としてその人格を尊重される権利**
患者さんが、ひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。
2. **良質で高度な医療を公平に受ける権利**
患者さんは、どなたでも平等かつ公平に、良質で高度な医療を継続して受ける権利があります。
3. **充分な説明を受ける権利**
患者さんは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で充分に理解できるまで説明（インフォームドコンセント）と情報を受ける権利があります。
4. **自己決定の権利**
患者さんは、説明と情報提供を受け、充分理解・納得された上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利、あるいは拒否する権利があります。
5. **選択の自由の権利**
患者さんは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
6. **情報の開示を求める権利**
患者さんは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
7. **プライバシーの保護と秘密を保持される権利**
患者さんは、病院内のプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

患者さんには、良質で安全かつ効率的な医療の提供を受けて頂くために次のことをお願いいたします。

- ご自身の健康に対する正しい情報の提供と医療への積極的なご参加
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたさないためのご協力
- 療養上、必要な制約を受けることへのご理解

地域医療支援病院

医療法人 福井心臓血管センター

福井循環器病院

〒910-0833 福井市新保2丁目228番地
TEL.0776-54-5660(代)

- ホームページ <http://www.fcvc.or.jp/>
- Eメール heart-hospital@fcvc.or.jp

診療案内

診療科目

循環器科・心臓血管外科、消化器科、呼吸器科、内科、外科、小児科、眼科、リハビリテーション科、小児外科、麻酔科、内分泌科（糖尿病）

診療指定

保険医療機関、国保医療取扱機関、労災指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核予防法指定医療機関、身体障害者福祉法指定医療機関、原爆被爆者一般疾患医療機関、救急告示病院

保険診療届出事項 (基本診療料の施設基準)

- 一般病棟入院基本料
(7対1入院基本料)
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算
- 医師事務作業補助体制加算
(75対1補助体制加算)
- 急性期看護補助体制加算(50対1)
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 栄養管理実施加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算2
- 退院調整加算
- 救急搬送患者地域連携紹介受入加算
- 特定集中治療室管理料1
- データ提出加算
- 入院食事療養(I)